

市中小企業・小規模企業振興条例を制定



市内の事業所数の約99パーセントを中小企業・小規模企業が占める

中小企業等を取り巻く厳しい環境

中小企業・小規模企業（以下「中小企業等」）を取り巻く環境は、人口減少や高齢化、就業構造の変化などの社会経済情勢の変化に加え、売り上げの減少や経営者の高齢化など、さまざまな課題を抱えています。特に本市では、東日本大震災からの復旧・復興に伴う風評被害などにより、いっそう厳しさを増しています。

中小企業等の振興を図るための条例を制定

そこで市は、市内の事業所数の約九十九パーセントを占める、中小企業等の振興に関する施策を総合的に推進し、本市経済の活性化や市民生活の向上を図るため「いわき市中小企業・小規模企業振興条例」を制定

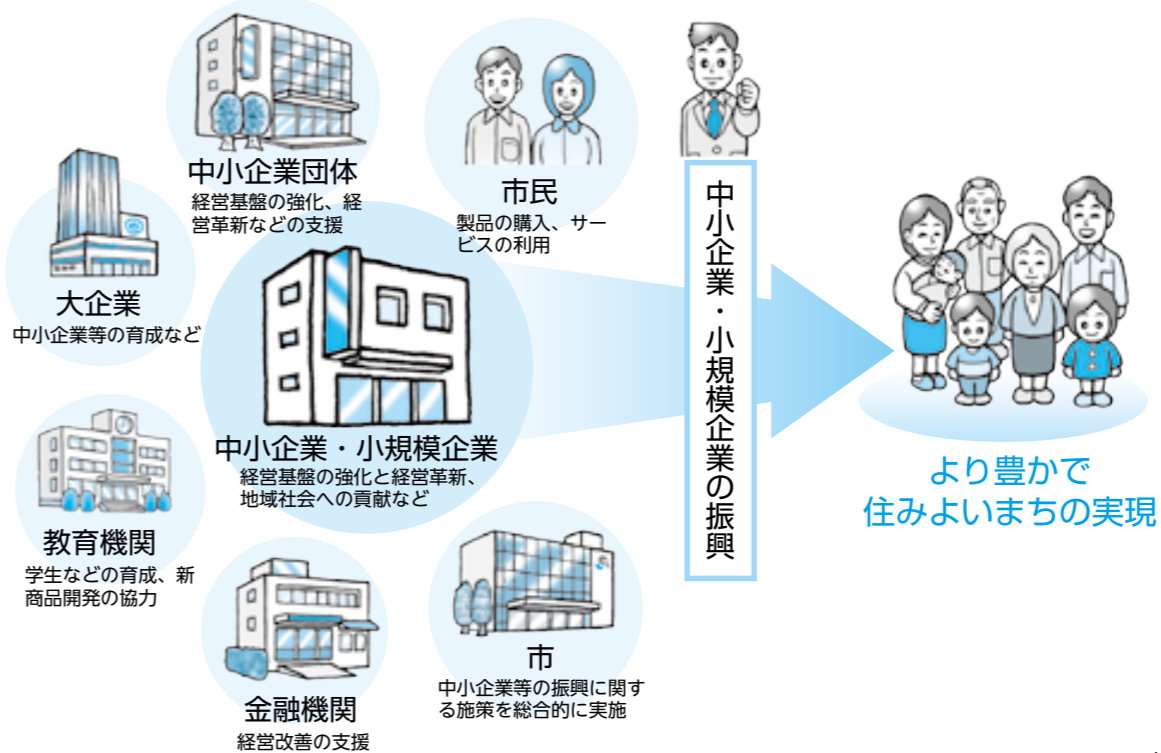
中小企業等が輝き続けるために

同条例では、中小企業等が将来にわたって輝き続けるため、経営基盤の強化や経営の革新、就業機会の増大などに自主的に取り組むとともに、市や各団体、市民の皆さんが一体となり、中小企業等を支援していくこととしています。

市は今後、中小企業・小規模企業振興会議を設置し、各団体と一丸となって、中小企業等が抱える課題の解決に取り組むとともに、それぞれが役割を適切に果たしていくことで、中小企業等の振興に取り組んでいきます。

お問い合わせ
産業創出課産業振興係
☎ 22・1126

市や各団体などの主な役割



平成27年度消防庁長官表彰

同表彰は、消防業務に長年従事し、その成績が優秀で、他の模範と認められる消防団員などを表彰するものです。

＝年齢は3月1日現在。支団（所属、階級）順・敬称略＝

- ▷阿部幸夫(53)=第1支団分団長 平鯨岡
- ▷波立俊彦(57)=第2支団副支団長 鹿島町上蔵持
- ▷鈴木宏昭(56)=第2支団分団長 泉町
- ▷高萩一樹(57)=第2支団副分団長 小名浜住吉
- ▷鈴木光(56)=第3支団分団長 仁井田町
- ▷川原吹重男(56)=第3支団分団長 山田町
- ▷蛭田明人(55)=第3支団分団長 田人町荷路夫
- ▷蛭田亘洋(56)=第3支団分団長 田人町貝泊
- ▷助川弥(54)=第3支団副分団長 錦町
- ▷面川正春(59)=第4支団分団長 遠野町大平
- ▷齊藤幸人(52)=第4支団分団長 常磐上湯長谷町
- ▷石田一実(56)=第5支団分団長 好間町川中子
- ▷根本晃(58)=第5支団分団長 内郷内町
- ▷吉田丈美(59)=第6支団分団長 小川町西小川
- ▷大川原秀吉(59)=第6支団分団長 川前町川前
- ▷吉田健政(60)=第6支団分団長 小川町柴原
- ▷佐藤光男(55)=第6支団分団長 小川町西小川

第26回危険業務従事者叙勲

同叙勲は、警察官や自衛官、消防吏員など、著しく危険性の高い業務に精励した方に贈られるものです。

＝年齢は4月29日現在。50音順・敬称略＝
瑞宝双光章

- ▷佐藤勝利(71)=元県警部 好間町上好間
- ▷吉田正美(71)=元県警視 小名浜住吉
- 瑞宝単光章**
- ▷野木俊(71)=元県警部 平下神谷

文部科学大臣表彰「子どもの読書活動推進」

▷長倉小学校
同表彰は、子どもの読書活動の実践で優れた成果を上げている学校や図書館などに授与されるもので、児童・職員を引き付ける魅力ある図書館づくりなどの、同小の取り組みが評価されました。

紺綬褒章

▷若林設備工業株式会社（大阪府大阪市）
同褒章は、公益のために多額の私財を寄付した個人・団体に対して授与されるもので、同社が市内小・中学校に、洋式トイレ180基を寄付した功績がたたえられました。

いわき応援大使の紹介 ①

明るく元気ないわき市の実現に向け、本市のPRやアドバイス・情報提供をしていただく「いわき応援大使」に、新たに委嘱した5人の皆さんを、シリーズで紹介いたします。



大倉由紀枝さん
(国立音楽大学教授)

小学校の学芸会で独唱したことから、合唱というアンサンブルの楽しさを知り、美しい響きや心の和を求めて、練習に励んだ青春の日々…。それが今の私の原点。故郷いわきの人々の心を、音楽の力で、元気にしたい。



早川信夫さん
(NHK解説委員)

「若いまち いわき 伸びてゆく いわき」中学生だったころに作られた市歌のこの一節を、ふとした瞬間に思い出します。時代は移ろいましたが、この歌に込められた思いを胸に、故郷いわきに恩返しができればと考えています。